



平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 日産車体株式会社  
 代表者名 取締役社長 木村 昌平  
 (コード番号 7222)  
 問合せ先責任者 総務部部長 中津川 隆則  
 (TEL. 0463-21-8001)  
 当社の親会社 日産自動車株式会社  
 代表者名 取締役社長 西川 廣人  
 (コード番号 7201)

### 平成 30 年 3 月期 連結業績予想との差異及び 個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 12 月 19 日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示した平成 30 年 3 月期の業績予想と実績に差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。併せて、個別業績の前期実績値に差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 連結業績予想との差異 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	555,000	△1,700	△1,200	△4,500	△32.09
実 績 値 (B)	558,600	1,330	1,756	△2,297	△16.38
増 減 額 (B-A)	3,600	3,030	2,956	2,203	
増 減 率 (%)	0.6	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	565,822	12,195	12,709	8,223	55.59

## (差異の理由)

当社は、平成 29 年 11 月 17 日にホームページで公表いたしました通り、11 月上旬の生産再開以降、確実な完成検査を実施していくため、ラインスピードを通常速度よりも落とした運営を行ってまいりました。鋭意対策に努め、3 月までに当初計画のラインスピードでの運営に復帰し、市場動向による生産要望に応えた結果、生産台数が前回発表予想時に対して約 1%増加し、売上高も増加いたしました。また営業費用の圧縮等によるコスト面での改善を図ったことにより、平成 30 年 3 月期の連結業績は、平成 29 年 12 月 19 日公表の業績予想を上回りました。

## 2. 通期個別業績数値と前期実績値との差異 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 (A)	555,990	10,784	11,382	7,388	49.94
当 期 実 績 (B)	548,345	782	1,311	△2,563	△18.28
増 減 額 (B-A)	△7,644	△10,002	△10,070	△9,951	
増 減 率 (%)	△1.4	△92.7	△88.5	-	

## (差異の理由)

上記完成検査工程における不適切な取扱いに端を発した売上高の減少に加え、業務体制改善や工程環境整備等の費用が発生したこと、またリコール関連費用を特別損失に計上したことなどによるものです。

以上